

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷
は毎週土曜

～児童書～



『なみのいちにち』
作：阿部 結
発行：ほるぷ出版

～一般書～



『うるうの朝顔』
著者：水庭 れん
発行：講談社

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館
開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで
【須木分館】毎週月曜と祝日は休館
開館時間 9時～17時
【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館
開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
毎月1日は館内整理日のため全館（本館・須木・野尻）休館

「やさしい声」と「ぬくもり」を届ける 赤ちゃん絵本のひととき

赤ちゃんが家族と一緒に絵本を楽しむための
取り組みを紹介します。

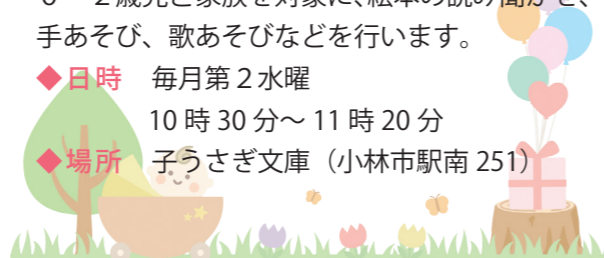
ブックスタート

市では3カ月健康診査時、全ての赤ちゃんを対象に、「絵本2冊」をプレゼントする「ブックスタート」を実施しています。

絵本であそぼ0・1・2（子うさぎ文庫共催）

0～2歳児と家族を対象に、絵本の読み聞かせ、手あそび、歌あそびなどを行います。

- ◆日時 毎月第2水曜
10時30分～11時20分
- ◆場所 子うさぎ文庫（小林市駅南251）



行ってみよう！やってみよう！ お出かけガイド こばやしの夏を楽しむ夏祭り情報

市内各地で8月・9月にかけて開催される夏祭りを
紹介します。ぜひご参加ください！

約2千発の花火がのじり湖を彩る 第39回 のじり湖祭り



高校生企画やステージイベントなど盛りだくさん。フィナーレは約2千発の花火がのじり湖を彩ります！
●日時=8月26日（土曜）16時30分～（花火打上20時30分～）●場所=のじりこびあ●問=のじり湖祭実行委員会（TEL 44 - 1221）

山々にこだまする大迫力の花火 第44回すき納涼花火大会



山々にこだまする打上花火は迫力満点！ステージイベントも盛りだくさんです！
●日時=8月5日（土曜）17時～（花火打上は20時～）●場所=須木中学校運動場●問=すき納涼花火大会実行委員会（TEL 48 - 3451）

小林駅だヨ！全員集合 第2回シン・こばやし夏まつり



地元出店や餃子フェス、地元アーティストのステージも♪スケボーパークや重機ふれあいなどのキッズゾーンも充実♪お化け屋敷も同日開催！
●日時=9月9日（土曜）11時～●場所=小林駅周辺●問=小林まちづくり株式会社（TEL 27 - 3280）

健康のまちづくり拠点施設整備 つうしん

建設に向けた実施設計と施工業者の公募を開始

健康づくり、子育て支援、避難所などの機能を備えた複合型の新市民体育館の建設に向けて、事業者選定のための公募が始まりました。 ●問=建設課 TEL 23-0311

新市民体育館の基本理念

市民の誰もがいつでも気軽に訪れ、スポーツ・健康づくり・子育てを行うことができる拠点施設の整備

基本理念に基づき多様なニーズに対応した施設となるよう、公募では以下の項目を提示しています。

- 1 誰もが日常的に利用しやすい施設である
- 2 スポーツ活動、健康づくり、子育て支援の拠点として活用できる施設である
- 3 広域的な災害発生にも対応でき、防災拠点となる施設である
- 4 イニシャルコスト（初期費用）やランニングコスト（維持管理費用）に配慮した施設である
- 5 新たな時代に対応した施設である

応募のあった事業者についてプロポーザル選定委員会で審査を行い、12月頃に選定結果を公表予定です。



Carbon豆知識

市は2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しています。

脱炭素のための行動2

移動にはつい自動車を使いがちですが、化石燃料を使わない自動車の利用や、近場へは自転車や徒歩で移動することで脱炭素につながります。

ほかにも、近年よく聞く「テレワーク」「オンライン会議」などの方法を活用すれば、移動を減らすことができます。

また、普段購入する食品の選択に気を付ける（すぐ使うときは賞味期限・消費期限の近い品や値引き品を選ぶ）、料理の作りすぎ・食品ロスを防ぐことも脱炭素につながります。食べ物は、生産・製造・輸送・廃棄の全ての過程で温室効果ガスが発生することを意識しましょう。 ●問=生活環境課 TEL 23-8122

ひなたゼロカーボン推進事業補助金

県は、2050年ゼロカーボン社会実現に向け、住宅や事業所での再エネ設備などの導入を支援しています。

補助対象

- 個人向け 太陽光発電設備導入／蓄電池導入／高効率給湯器導入／断熱改修
- 事業所向け 太陽光発電設備導入／高効率給湯器導入



●問=ひなたゼロカーボン推進事業補助金事務局 TEL 050-3669-9390

▲補助率などの詳細はコチラ

7月7日と8日に、姉妹都市である石川県能登町を訪問し、同町宇出津地区で開催された「あばれ祭」を視察しました。「あばれ祭」は、地域で流行した疫病を収めるために始まったとされ、350年以上の歴史があり、文化庁の日本遺産にも認定されている伝統ある祭りです。2日間、夜を徹して開催され、多くの観光客が訪れます。約40基の巨大なキリコ（※）が松明の周りを火の粉を浴びながら勇壮に練り歩き、さらには神輿を叩きつけ川や火の中に放り込むなど、その様子は凄まじく、圧巻の一言。住民だけでなく、地域の出身者も帰省して参加します。キリコには子どもたちが乗り、笛や太鼓で活気づけるなど、地域に文化として根付いていることを感じました。小林市内でも、六月灯や夏祭りがコロナ禍から復活し、にぎわいをみせています。多くの人々が集い、屋台やステージイベント、趣向を凝らした余興で盛り上がっていました。

宮原市長のコラム

信念を貫く

Check!
☑ Volume.26

祭りは地域の元気の源



私も特別にキリコを担がせてもらいましたが、あまりの重さに驚きました

皆さんの笑顔を見て、祭りは地域の元気の源であると改めて感じ、復活に携わった皆さんの努力に心から敬意を表します。8月も花火大会をはじめ、さまざまな祭りが開催されます。熱中症などに気を付けて、祭りを楽しんでください。 ※切り灯籠を縮めた呼び名。直方体の山車的一种で、担ぎ棒が組み付けられています